

みなさんへのお知らせで、少しは気の利いたことを書かなくてはと、「ことば探索」とか「仏事ひとくちメモ」とか、いろいろタイトルをつけて短文を書いてきました。でも、どのシリーズも長続きしたものはありません。そこで作年から、決意も新たに「いっぷく紹介」なる連載を始めました。今回はその4回目。

### いっぷく紹介 その4

松岩寺は昭和20年の戦災でほとんどの建物と仏具を焼失してしまいました。現在あるものはかろうじて焼け残ったものか、先々代と先代がそろえたものです。その中から、興味深い墨跡の一幅を機会をみつけて、紹介していきます。

前三後三三 妙心太通 印 縦132センチ×幅34センチ



今回、ご紹介するのは、現妙心寺派管長・河野太通老師の墨跡です。管長とは、「一宗一派を管轄する長。1872年(明治5)政府が制定」と、広辞苑では説明されています。教団の代表者ですが、実務的な代表者というよりは象徴にちかい存在といえはわかっていただけでしょうか。

任期は四年で、修行道場の指導者(老師)の中から選ばれます。現管長は昨春就任されました。その就任式(晋山式)には私も呼んでいただき参列いたしました。「呼んでいただいた」というよりは、三年前の先任職の志年忌の導師をしていただいたりして、少々のご縁があるので、「呼んでください」と、押しかけたのですが。

晋山式の引き物には新管長の墨跡がいただけるのが通例なのですが、今回はいただけなかった。なぜかという、何百

### 節電でお施餓鬼の受付時間がわかります

八月一日〜三日  
朝七時から午後一時まで

同封のお施餓鬼申込書にも書きましたが、今年の節電モードで、お施餓鬼の受付時間が変わりました。

八月一日から三日までの朝七時から午後一時です。場所は例年と同じ本堂です。午前中は無理という方は、午後でもかまいませんが、本堂ではなく、山門前の建物にお越しください。玄関右手の呼び鈴を押してください。

節電といえば、墓地入り口の池の散水も、春のお彼岸から中止していましたが、お盆にはエコな方法で再開したいと計画しています。どこがエコロジーなのかは墓参のついでに見つけてください。

ところで、墓地の管理棟にあるクーラーの室外機が二月頃、何者かによって盗難にあいました。まったく物騒な世の中です。お気をつけください。

### チェンバロとビオラダカンパとギターと

秋彼岸法要  
九月二十三日(秋分の日)  
午前十一時から

春のお彼岸は東日本大震災から9日あまり。原発は不透明、停電もあって、鉄道は平常運行にはほど遠い状況で、当初予定していた演奏者が変わってピンチヒッターで難局を切り抜けました。

あれから半年後の秋の彼岸で、三月に出来なかったことを再挑戦したのでは、面白くない。諸行無常、すべてのものは常に変化していて元にもどることはないのだから、少し変わったメンバーが参加して、チェンバロを囲みます。

涼しくなった頃、ご案内いたしますので、ご期待ください。

### 予告 秋彼岸

#### 編集後記

右ページで紹介した現妙心寺派管長親下の墨跡は、作年の暮れに頂戴したものです。どのような経緯でいただいたのか……。ちようど一年ほど前だったでしょうか。京都の妙心寺宿坊・花園会館から電話がありました。

「松岩寺の先任職様から宿泊者用のスリッパをご紹介していただいたことがある。だいぶ痛んで交換の時期になったので、業者を教えていただけませんか」

その言葉を鵜呑みにして、業者の名前だけを教えたのでは、「先任職は気が利いたけれど、現任職は粗忽者よ」と言われてしまう。「先任職にはスリッパをご寄付いただいたので、今回も！」という気分が、電話の声の奥の片隅にはかくされているわけです。というわけで、藤川屋さんに手配して、名入りスリッパ三千足をご寄付申し上げたお礼にいただいたのが、管長様の墨跡という次第です。

花園会館は一般の方でも自由に泊まれる宿泊施設です。妙心寺・金閣寺・龍安寺・嵐山など京都の北西部を散策するにはうってつけの場所にあります。直近にはミシュランの一つ星を獲得した精進料理の「阿じろ」もあります。ご利用ください。なお、花園会館を利用していた秋の参拝旅行を、来年には再開する予定です。